

令和8年3月24日

東温市教育委員会 保育幼稚園課

1. 調査の目的

東温市では、老朽化した市立保育所の整備について検討中である。事業実施の効果を高めるため、事業手法や財源等、広く民間事業者の意向把握やノウハウ等の情報を収集するため、公募によるサウンディング型市場調査を実施した結果を公表する。

2. 実施期間

令和8年3月10日から3月12日まで

3. 参加事業者

7者（業種：設計・建設、保育施設運営）

4. 結果の概要

参加事業者からの意見や提案等は主に以下の3項目である。

なお、各事業者のノウハウに関わる内容については公表しない。

(1) 新施設の導入機能・規模

構造面では園児の安全な動線確保や整備費用を考慮し、木造平屋建てが望ましいとの意見が多く出された。また、機能面では光熱費を抑えるための高断熱化、木材を使用した温かみのある空間づくりや東温市の豊かな自然を活かした園児が主体的に遊ぶことができる園庭整備等の提案があった。

(2) 適切な事業手法、運営や事業費について

小学校との連携強化が国より求められていること、また仮設園舎にかかる費用を抑えるため、小学校の敷地内や隣接地への移転新築が効率的であるといった意見があった。また、教育・保育における官民の役割分担や民間委託の懸念点等、段階的な民営化や地元企業が参加しやすい発注方式に関する意見があった。

(3) 休所（園）施設における今後の運営について

地域コミュニティ施設、防災備蓄倉庫や子どもたちが自由に自然体験・異年齢交流できる遊び場としての整備提案があった。一方で施設の老朽化が進行している場合は、安全面や用途変更時の費用を考慮し、解体して更地化することも選択肢の一つとして意見があった。

5. 今後の計画

本サウンディング型市場調査にて得られた貴重な提案や意見は、今後の詳細な整備計画に反映するものとし、持続可能な子育て支援の充実したまちづくりに貢献できる整備となるよう検討協議を進めていくものとする。